

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	相模原市
取組市町村名 取組団体・企業名	相模原市 社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団
取組の名称	消費生活相談員による出前講座の実施（消費生活総合センター）
実施時期	6月7日（木）
取組内容	○主催：相模原市障害者支援センター 松が丘園 ※指定管理者：（社福）相模原市社会福祉事業団 ○主管：消費生活総合センター ※消費生活総合センターの啓発事業である出前講座を活用し、対象者に講座を実施しました。 ○目標：食材の好き嫌いがある利用者に対する食育を推進し、食生活の大切さや食の選び方等を学ぶことを目標としました。 ○対象：施設通所者（知的障害者（自立訓練生）） 参加者 17名 ○内容：テーマ「からだと心で育む「食」を大切に！ーいつも笑顔で元気ー」 ・食材の好き嫌いから、食生活の大切さと健全な成長のための“食”の選び方等について ・参加者個々に飲み物を持参してもらい、それぞれの含有当分について解説 ○結果：・栄養素や栄養成分表示を学びました。 ・バランスの良い食事について学びました。 ・食の大切さや健全な成長のための食事の選び方を学びました。

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	相模原市
取組市町村名 取組団体・企業名	相模原市
取組の名称	市広報誌への食育の取り組みの掲載
実施時期	6月1日（金）
取組内容	幅広い市民への食育の啓発を目的とし、「身近なことから 楽しくできる！毎日の食育～6月は食育月間です～」と題し、相模原市広報紙「広報さがみはら」に身近に取組める共食などの食育についての説明と、市の食育の取り組みを掲載しました。  6 広報 さがみはら 平成30年(2018年)6月1日 No.1386 6月は食育月間です 身近なことから 楽しくできる！毎日の食育 食育ってどんなこと?? 健康で豊かな食生活を送るために、さまざまな経験を通して「食」に関する知識と、「食」を選ぶ力を身に付けることをいいます。 こんなことも 食育 です みんなで食べると 共食 うれしいね 朝食で1日のスタート 朝食を食べることで体のスイッチがONになります。生活リズムを整えるために、毎朝食べるように心掛けましょう。 元気にあいさつ 食事に関わってくれたさまざまな人への感謝を込めて、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしましょう。 楽しくお手伝い 食卓の準備や後片付けなどの簡単なお手伝いでも、「食」への関心が高まります。できることからやってみましょう。 家族や友人とおしゃべりしながら、ゆっくり食事をする、おなかもちも満たされます。家庭で、職場で、地域で、誰かと一緒に食事をする機会を増やしてみましょう。 中学生の提案献立 家庭科などの授業で学んだことを基に、生徒から「こんな給食あったらいいな」という献立を提案してもらいます。特に優秀な提案は、実際に給食として提供されています。 生活習慣病予防教室 食生活をはじめとした、生活習慣全般について楽しく学びます。 次回の開催予定 7月21日(土)・28日(土) ※その他の日程については別冊ウェルネス通信でお知らせします。 ☎南保健センター ☎042-701-7708 たのしさアップ! おいしさアップ! 食育フェア 食育に取り組む団体と協力し、展示や体験を通して楽しく「食」について学ぶイベントです。 ※次回の開催予定については市ホームページなどでお知らせします。 地域から学ぶ食育～公立保育園での取り組み～ 農家の人から市内で採れる野菜の話聞きながら、実際にいろいろな野菜に触れる経験をすることで、子どもたちの「食」への興味を育てています。 市では、こんな取り組みを行っています 健康増進課 ☎042-769-8274

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	相模原市
取組市町村名 取組団体・企業名	相模原市農業体験学習推進協議会
取組の名称	相模原市農業体験学習
実施時期	6月10日
取組内容	相模原市農業体験学習は、市内の小学校5、6年生を対象に、田植えから稲刈りまでの米作り及び収穫した米を使用した餅つきや料理づくりを体験することで、農業の大切さ、楽しさを学ぶことを目的として実施しています。 6月10日、75名の児童が参加して10aの水田に田植えを行いました。また、児童が自宅で苗の成長過程を学ぶことができるよう、田植えで余った苗を配布しました。